

国立大学法人

名古屋工業大学

Nagoya Institute of Technology

DATA BOOK

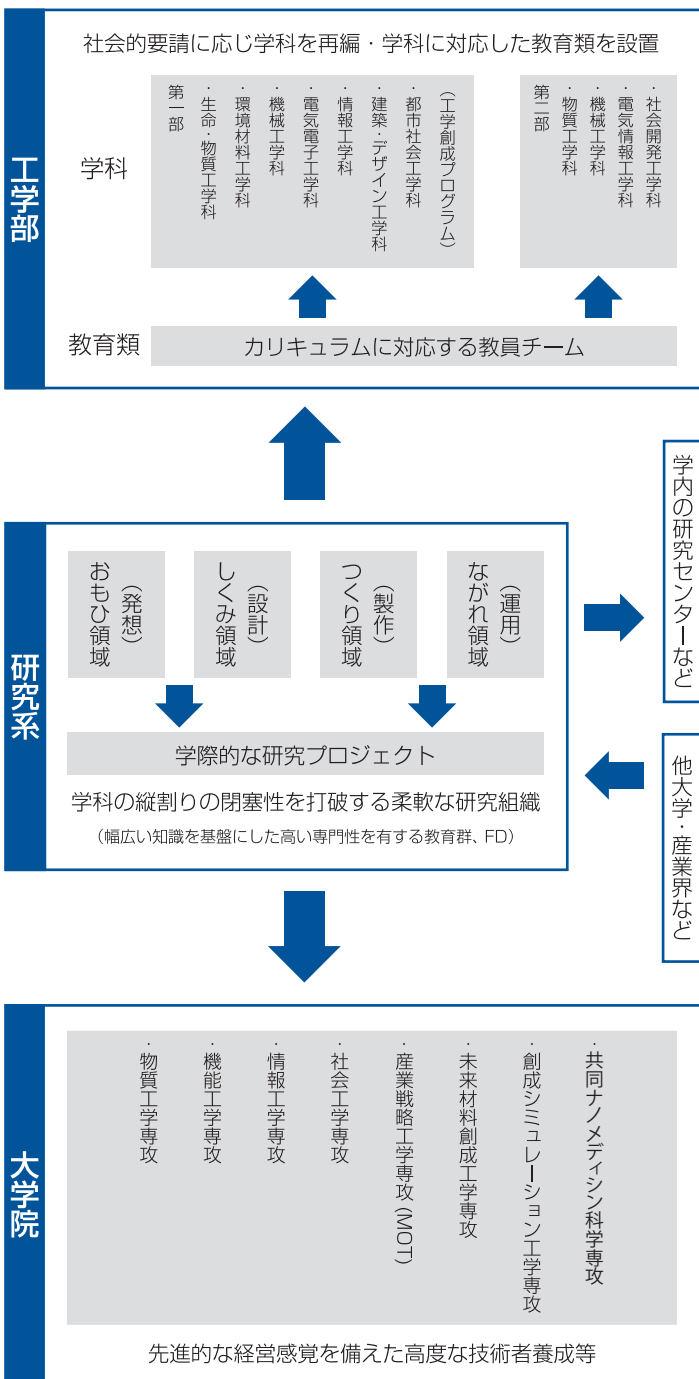
2014



教員組織

教員組織として「領域」を設置

従来の縦割り学問分野による学科組織から離れて、異分野の教員が交流する横断的、学際的な組織であり、研究系組織として大学院に置くものです。領域は、おもひ（発想すること）、しくみ（設計すること）、つくり（製作すること）、ながれ（運用すること）という四つの領域があります。各教員は、このいずれかの領域に所属し、教員同士が互いに刺激し合うことで、新たな学際的な研究プロジェクトがたちあがることを期待するものです。



100年にわたる伝統の上に新たな風を

明治38年3月28日 創設
名古屋高等工業学校

昭和18年2月16日 創設
愛知県立高等工業学校

昭和19年4月1日 改称
名古屋工業専門学校

昭和19年6月1日 改称
愛知県立工業専門学校

昭和24年5月31日
名古屋工業大学

平成16年4月1日
国立大学法人 名古屋工業大学

名古屋工業大学は、明治38年創設の名古屋高等工業学校と、昭和18年創設の愛知県立高等工業学校が合併し、昭和24年に新制大学として発足しました。

平成16年に「国立大学法人名古屋工業大学」として新たに発足しました。

第一部7学科、第二部4学科、 大学院8専攻の工学系の単科大学

工学部第一部

7学科

生命・物質工学科
環境材料工学科
機械工学科
電気電子工学科
情報工学科
建築・デザイン工学科
都市社会工学科
(工学創成プログラム)

大学院工学研究科

8専攻

物質工学専攻
機能工学専攻
情報工学専攻
社会工学専攻
産業戦略工学専攻
未来材料創成工学専攻
創成シミュレーション工学専攻
共同ナノメディシン科学専攻

工学部第二部

4学科

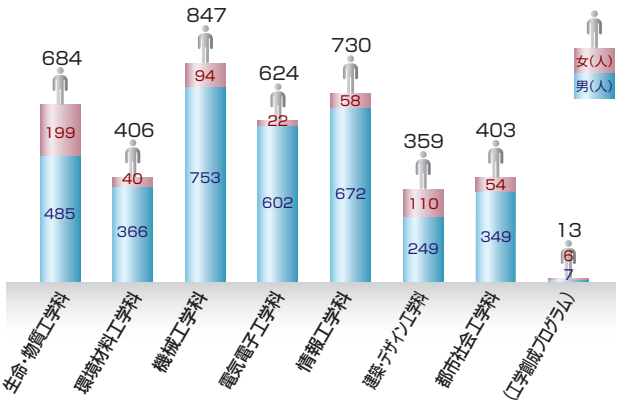
物質工学科
機械工学科
電気情報工学科
社会開発工学科

教育研究センター等

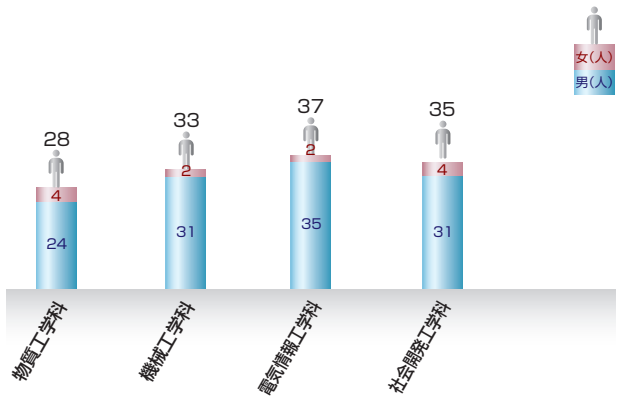
ものづくりテクノセンター
先進セラミックス研究センター
極微デバイス機能システム研究センター
次世代自動車工学教育研究センター
高度防災工学センター
コミュニティ創成教育研究センター
オプトバイオテクノロジー研究センター
窒化物半導体マルチビジネス創生センター
グローバル共生情報研究センター
マルチエネルギーイノベーションセンター
国際交流推進本部
リサーチ・アドミニストレーション・オフィス
産学官連携センター
工学教育総合センター
留学生センター
情報基盤センター
大型設備基盤センター
リスクマネジメントセンター
若手研究イノベータ養成センター
教員再雇用センター
保健センター
セラミックス科学研究教育院

5,711人が在学中 そのうち約13%が女子

◆工学部(第一部) 計4,066人

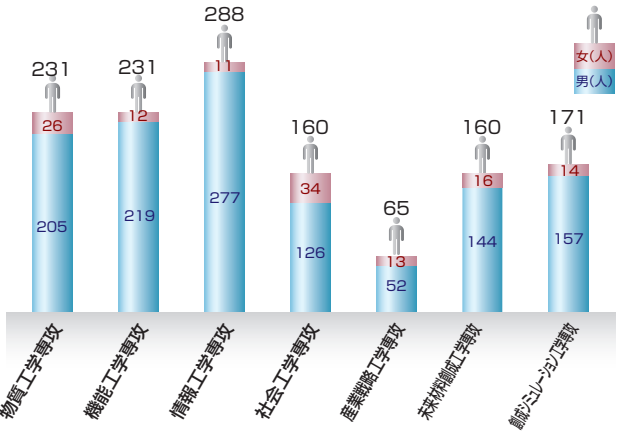


◆工学部(第二部) 計133人

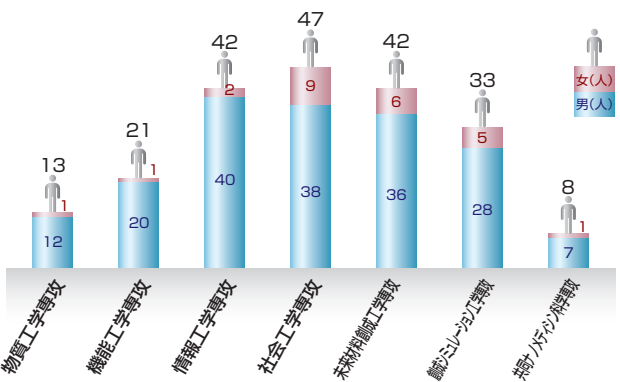


◆大学院工学研究科 計1,512人

博士前期課程 計1,306人



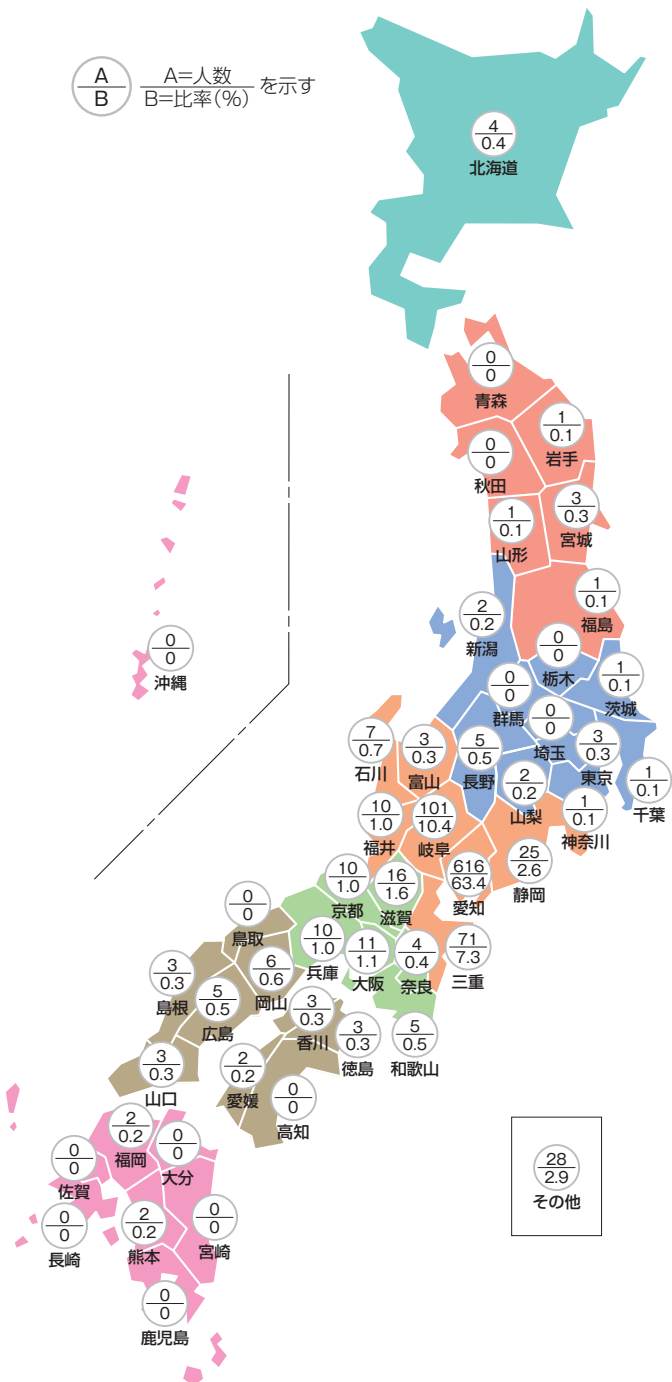
博士後期課程 計206人



入学者出身高校所在地

- 東海・北陸地区を中心に全国から学生が集まっています。
- 平成26年度入学者の場合、東海3県の出身割合は、第一部が81.0%、第二部が86.4%です。そのうち愛知県出身割合は、第一部が63.4%、第二部が63.6%です。

$\frac{A}{B}$ $\frac{A=人数}{B=比率(\%)}$ を示す



5

入学状況

■平成26年度志願倍率は、第一部前期日程3.2倍、第一部後期日程7.6倍、第二部6.5倍、大学院博士前期課程1.4倍、大学院博士後期課程1.2倍となっています。

区 分		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
工 学 部 (第一部)	推薦	90	297 (113)	96 (29)	96 (29)
	AO入試	8	12 (7)	8 (5)	8 (5)
	前期日程	512	1,674 (251)	542 (69)	531 (66)
	後期日程	300	2,193 (290)	354 (50)	289 (42)
	私費外国人 留学生特別入試	若干名	79 (19)	25 (7)	15 (3)
	国費・政費	若干名	5 (0)	5 (0)	5 (0)
	日韓	若干名	5 (1)	5 (1)	5 (1)
工 学 部 (第二部)		20	130 (25)	25 (4)	22 (3)
大学院工学研究科 (博士前期課程)		586	827 (85)	683 (65)	641 (64)
大学院工学研究科 (博士後期課程)		42	52 (3)	49 (3)	49 (3)
合 計		1,558	5,274 (794)	1,792 (233)	1,661 (216)

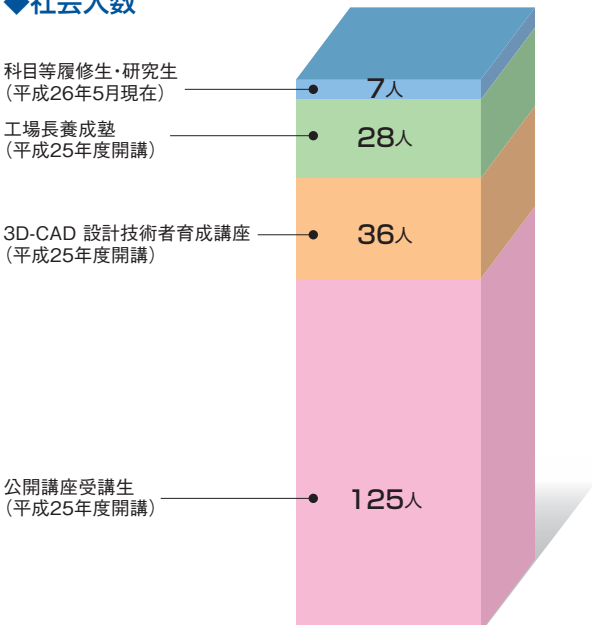
注：() は、女子数を内数で示す。

6

生涯学習

様々な形で生涯学習を行っています

◆社会人数

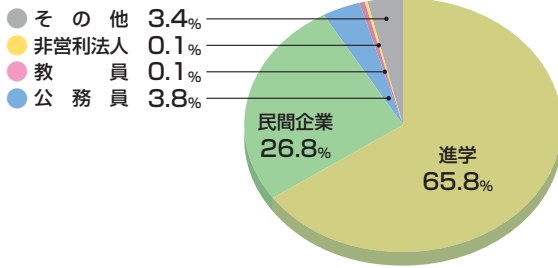


■博士前期課程、博士後期課程にも計112人の社会人が在籍しています。

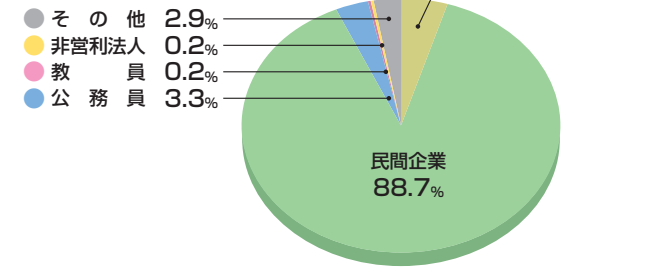
学部卒業者の65.8%が大学院へ

【学部・大学院別進路状況(平成25年度卒業・修了者)】

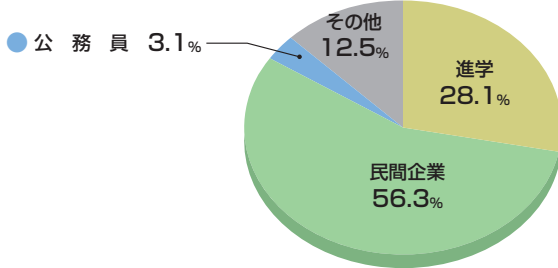
◆第一部 (卒業者 930名)



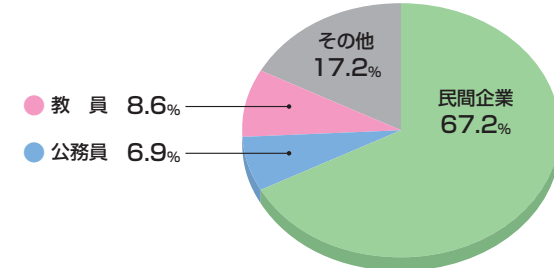
◆博士前期課程 (修了者 631名)



◆第二部 (卒業者 32名)



◆博士後期課程 (修了者 58名)



◆主な就職先

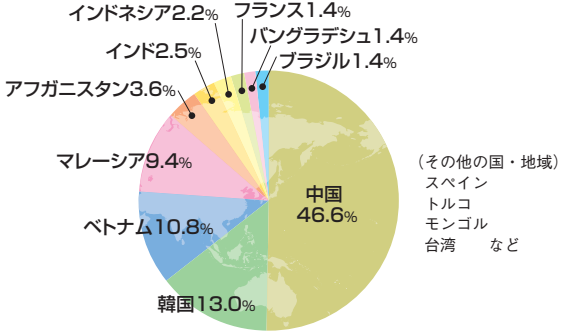
区分	学部 (一部・二部)		大学院博士課程 (前期・後期)	
産業界	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	6名	(株)デンソー	26名
	トヨタ自動車(株)	4名	トヨタ紡織(株)	13名
	(株)豊田自動織機	4名	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	12名
	(株)日立ソリューションズ	4名	(株)東海理化電機製作所	11名
	アイシン精機(株)	3名	トヨタ自動車(株)	11名
	清水建設(株)	3名	(株)豊田自動織機	10名
	大豊工業(株)	3名	ブラザー工業(株)	9名
	大和ハウス工業(株)	3名	アイシン精機(株)	8名
	中菱エンジニアリング(株)	3名	東海旅客鉄道(株)	8名
	(株)トヨタコミュニケーションシステム	3名	リンナイ(株)	8名
	愛知時計電機(株)	2名	新日鐵住金(株)	7名
	(株)アウトソーシングテクノロジー	2名	(株)日立製作所	7名
	旭化成ホームズ(株)	2名	三菱電機(株)	7名
	(株)アテック	2名	(株)竹中工務店	6名
	(株)アドヴィックス	2名	三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)	6名
	(株)ISOWA	2名	アスモ(株)	5名
	(株)大林組	2名	川崎重工業(株)	5名
	(株)オービック	2名	(株)小糸製作所	5名
	河村電器産業(株)	2名	中部電力(株)	5名
	KYB(株)	2名	(株)トヨタコミュニケーションシステム	5名
	小林クリエイト(株)	2名	日本特殊陶業(株)	5名
	CKD(株)	2名	本田技研工業(株)	5名
	(株)スペース	2名	(株)アドヴィックス	4名
	大成建設(株)	2名	(株)小松製作所	4名
	竹本油脂(株)	2名	スズキ(株)	4名
	(株)デンソー	2名	ダイキン工業(株)	4名
	東邦ガス(株)	2名	TIS(株)	4名
非官 営利公 法人庁	名古屋市	12名	名古屋市	9名
	岐阜県	4名	国土交通省	3名
	愛知県	3名	愛知県	1名
	岡崎市	3名	アフガニスタン交通省	1名
	一宮市	1名	アフガニスタン都市開発省	1名
	厚生労働省	1名	安城市	1名
	国土交通省	1名	岐阜県	1名
	小牧市	1名	警察庁	1名
	最高裁判所	1名	国立情報学研究所	1名
	三重県	1名	多治見市	1名
			中国国営企業	1名
		中国旅行局	1名	
		(独)都市再生機構	1名	
		豊田市	1名	
		三重県	1名	
		ミャンマー連邦共和国産業省	1名	

※同人数の就職先は五十音順とする。官公庁は、教育機関を除く。

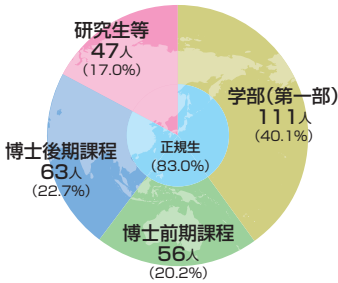
外国人留学生は277人 27カ国53大学等と交流協定締結

名古屋工業大学で学ぶ留学生は、世界27の国と地域からの277人です。うち89.5%に当たる248人がアジア地域からの留学生です。中でも中国からの留学生が一番多く、129人を数えます。

◆留学生の国別割合



◆留学生の区分別割合

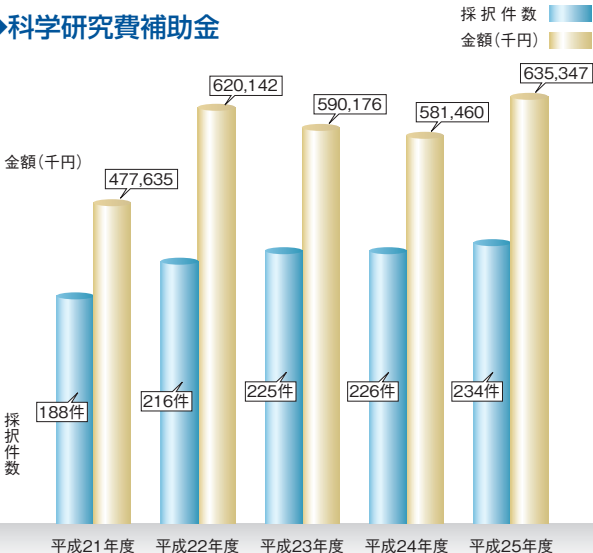


採択件数234件 6億3,534万円

科学研究費助成事業は、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的とする研究助成費であり、大学等の学術研究を推進し、我が国の基盤研究を形成するための重要な経費です。

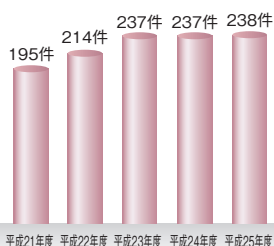
交付事務は、文部科学省及び日本学術振興会で行われています。

◆科学研究費補助金

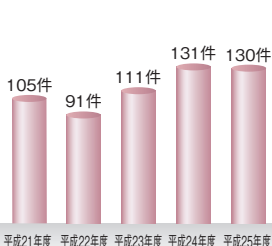


多くの共同研究・受託研究を実施

◆共同研究



◆受託研究



「共同研究」とは、企業等から研究者と研究経費を受け入れて、本学の教員と共通の課題について共同で行う研究です。

「受託研究」とは、学外機関等からの委託を受けて大学として行う研究で、これに要する経費を委託者が負担するものです。

◆知的財産収入

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
有体物	206	621	3,010	4,962	4,550
ノウハウ	7,685	46,077	62,757	878	106
著作権	400	200	0	0	158
特許権	11,354	13,095	8,166	15,300	8,878
合計	19,645	59,993	73,933	21,140	13,692

金額（千円）

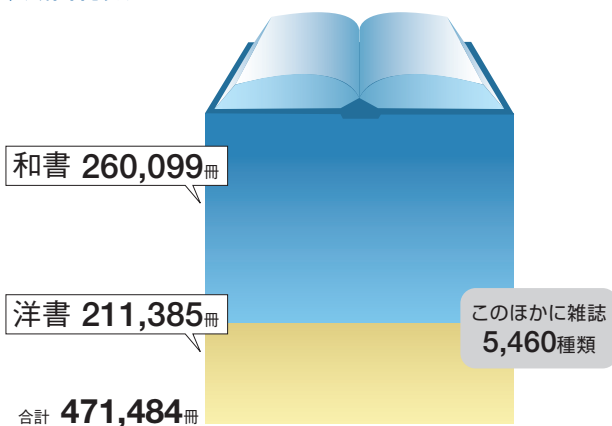
プロジェクト研究所は、学際プロジェクトや産学官連携に資する研究を推進するもので、事業に要する経費は、各年度2,000万円以上の外部資金をもって充て、設置期間は3年以上5年以下とすることを設置の条件としています。平成26年4月現在設置されている研究所の名称、研究代表者（プロジェクト研究所長）は以下のとおりです。

研究所の名称	研究代表者 (研究所長)
日本ガイシ イノベーション研究所	森 秀樹
藤本技術総合研究所	坂口 正道
国際音声技術研究所	徳田 恵一
日立ハイテクノロジーズ・メカトロニクス研究所	岩崎 誠
エネルギー触媒開発研究所	小澤 智宏
次世代自動車駆動用先進モーター開発プロジェクト研究所	小坂 卓
名工大スマートマテリアル創成研究所	日原 岳彦
機能材料研究所	渡辺 義見
粉体科学研究所	藤 正督
窒化ガリウムパワーデバイス研究所	江川 孝志
未来医療介護健康情報学研究所	岩田 彰
ビアメカニクスモーションシステム研究所	岩崎 誠
先端研究基盤共用促進研究所	種村 眞幸

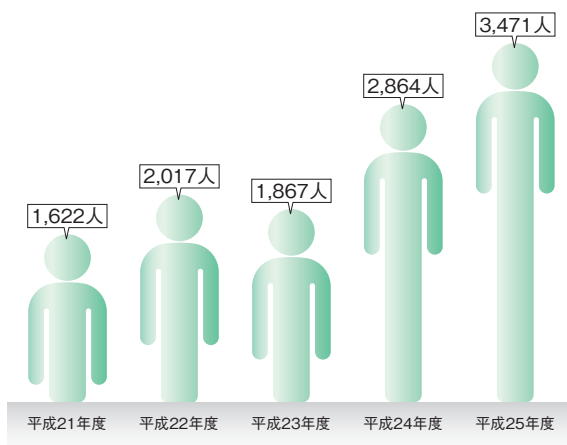
※設置順

蔵書数は約47万1千冊

◆蔵書総数



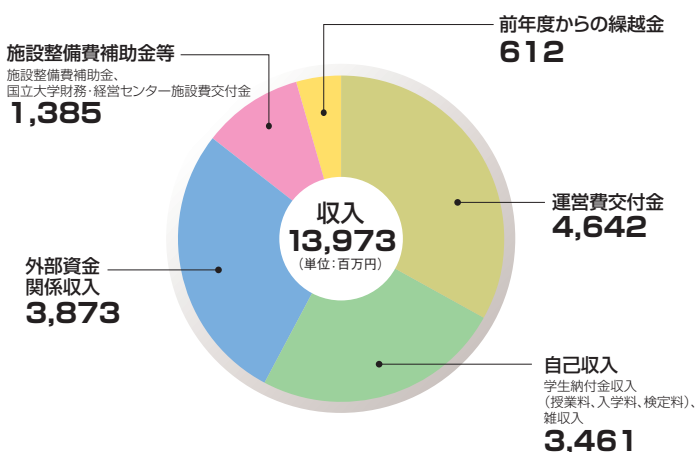
◆学外利用者数



- 名古屋工業大学附属図書館の蔵書は、和書約26万冊、洋書約21万1千冊、合わせて約47万1千冊にのぼっています。
- 市民への開放も積極的に実施しています。またインターネットにより学外からも蔵書検索ができます。
- 「名古屋工業大学学術機関リポジトリ」から博士論文など本学で作成された学術論文をご覧いただけます。

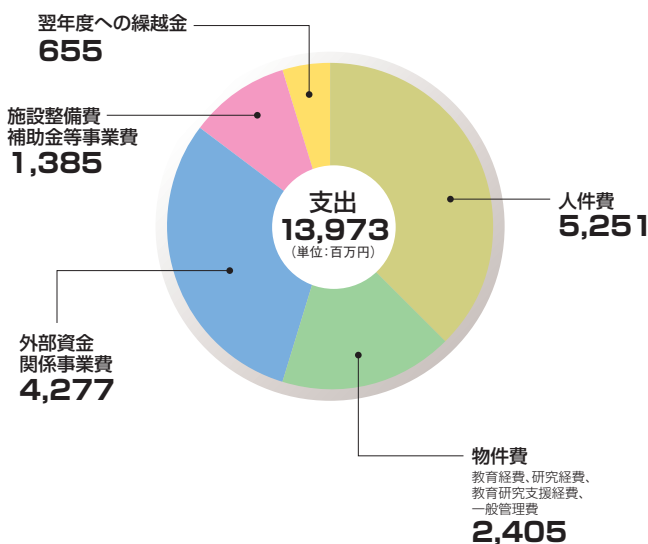
<http://www.lib.nitech.ac.jp>

平成25年度財政状況（百万円未満四捨五入）



注1：外部資金関係収入については、〈外部資金関係内訳〉を参照。

注2：前年度からの繰越金については、平成25年度支出分のみを記載。



◆外部資金関係内訳

(単位:百万円)

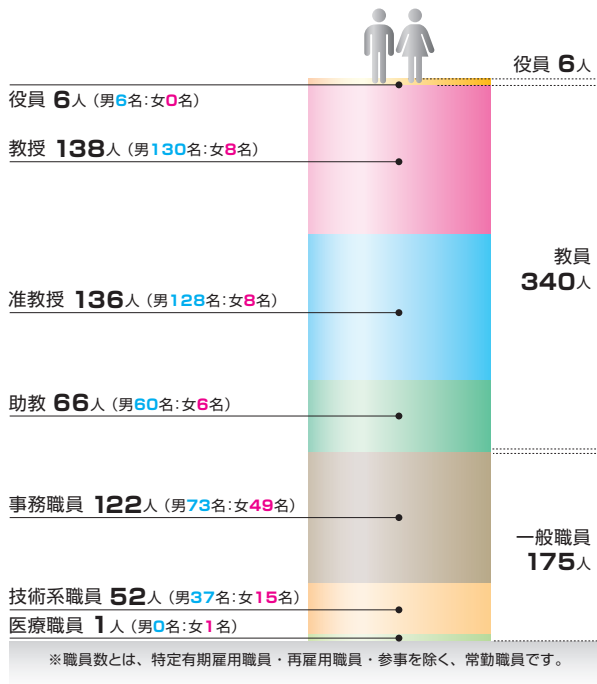
区 分	件 数	決 算 額
寄 附 金	564	212
受 託 研 究 費	130	828
共 同 研 究 費	238	626
受 託 事 業 費	4	18
科学技術人材育成費補助金	1	183
地域産学官連携科学技術振興事業費補助金	1	30
研究開発施設共用等促進費補助金	1	502
若手研究者戦略的海外派遣事業費補助金	1	22
設 備 整 備 費 補 助 金	1	31
ぞん技術革新センター運営協議会 共同研究助成事業助成金	1	3
研究拠点形成費等補助金	1	72
先端技術実証・評価設備整備費等補助金	1	1,191
間接経費（科学研究費補助金等）	269	155
計	1,213	3,873

(注) 寄附金の決算額には、未収収益等を含む。

14 役員・職員数

521人のスタッフが大学を支えています

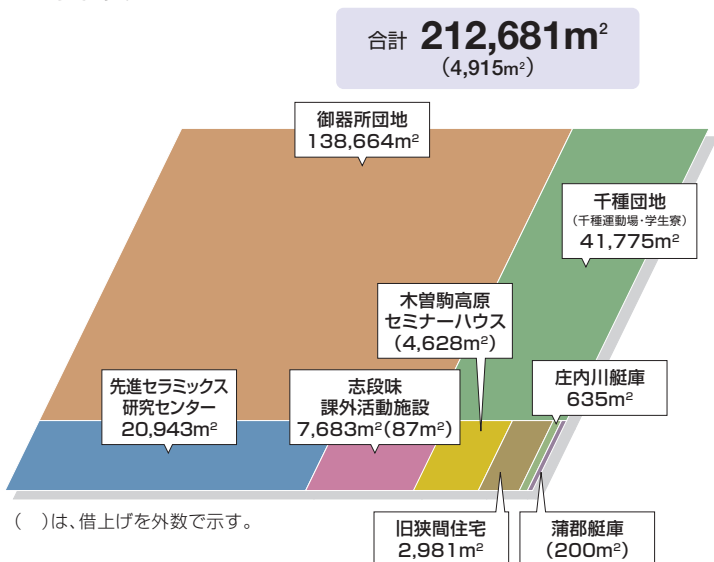
- 大学は教育研究機関という性格上、多くのスタッフを抱えており、名古屋工業大学におけるスタッフの総数は521人です。そのうち、スタッフ(専任のみ)の65.3%が教員です。
- 教員のうち22人(6.5%)、一般職員のうち65人(37.1%)が女性で、全体の16.7%を占めています。



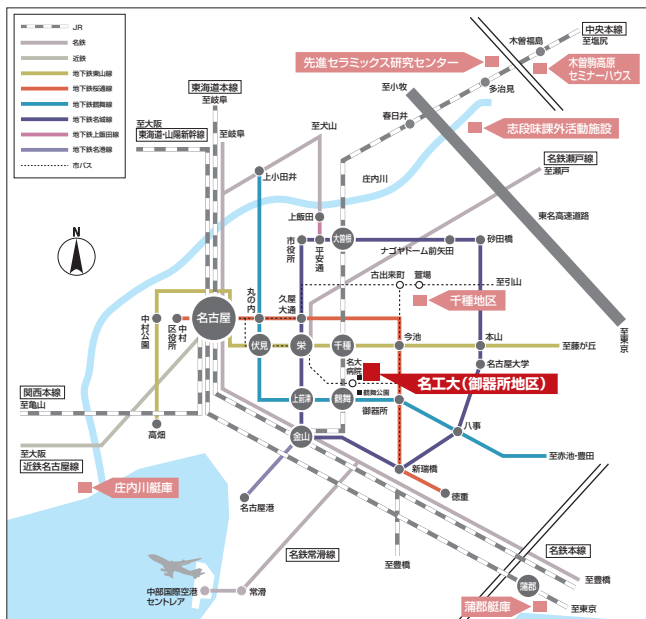
15 キャンパス面積

総面積は約21.2万㎡

- 名古屋工業大学のキャンパス総面積は約21.2万㎡です。それ以外に4,915㎡を借上げています。
- 敷地は、御器所団地(昭和区)と千種団地(千種区)に分かれており、庄内川艇庫(中川区)、志段味課外活動施設(守山区)などが名古屋市内にあります。また、先進セラミックス研究センターが岐阜県多治見市に、蒲郡艇庫が蒲郡市に、木曾駒高原セミナーハウスが長野県木曾郡木曾町にあります。



◆位置図



◆名古屋工業大学(御器所地区)への経路

J R	名古屋駅	約6分 (中央本線)	鶴舞駅下車名大病院口 東へ500m		
地下鉄	名古屋駅	約2分 (東山線)	伏見	約6分 (鶴舞線)	鶴舞駅下車4番出口 東へ500m
市バス	栄	約14分 (栄18番系統妙見町行き)	名大病院下車 東へ200m		

◆キャンパスマップ



名古屋工業大学憲章

基本使命

名古屋工業大学は、日本の産業中心地を興し育てることを目的とした中部地域初の官立高等教育機関として設立されたことを尊び、常に新たな産業と文化の揺籃として、革新的な学術・技術を創造し、有為な人材を育成し、これからの社会の平和と幸福に貢献することをその基本使命とする。

ものづくり

名古屋工業大学は、構成員の自由な発想に基づく実践的かつ創造的な研究活動を尊ぶとともに地球規模での研究連携を推進し、既存の工学の枠組みにとらわれることなく、工学が本来有する無限の可能性を信じ、新たな価値の創造に挑戦する。

ひとづくり

名古屋工業大学は、自ら発見し、創造し、挑戦し、行動することで、工学を礎に新たな学術・技術を創成し世界を変革することのできる個性豊かで国際性に富んだ先導的な人材の育成に専心する。

未来づくり

名古屋工業大学は、国民から負託を受けた開かれた大学として地域および国際社会との調和と連携を重視し、ものづくりとひとづくりを通して平和で幸福な未来社会の実現に向けて邁進する。

平成24年1月1日制定

- 1 沿革
- 2 組織
- 3 学生数
- 4 入学者出身高校所在地
- 5 入学状況
- 6 生涯学習
- 7 卒業後の進路
- 8 外国人留学生・国際交流
- 9 科学研究費助成事業
- 10 共同研究・受託研究
- 11 プロジェクト研究所
- 12 附属図書館
- 13 財政状況
- 14 役員・職員数
- 15 キャンパス面積
- 16 アクセス

■ 表紙デザインについて。「夢を実現する高度技術者の育成」を「人の手によるものづくり」をテーマにビジュアル化しました。オートメーション化の進む工学ですが、大学では手を使った基礎演習から始まり、専門分野に進むと、熟練の感覚の習得に至ります。「手を使って学んでいる様子」を触感を合わせたデザインで表現しました。立ち上る図形は名工大での生活を通して、学生が夢を実現していく様を表します。

■ デザインを手がけたのは、プロジェクトチーム「NIT DESIGN PROJECT (NDP)」です。「NDP」は、学生が主体となり、大学グッズの企画・デザイン・プロモーションを行い、学生が自らの想いを形にし、「名古屋工業大学」のブランド価値及び知名度を上げることを目的としたプロジェクトです。

国立大学法人
名古屋工業大学 DATABOOK
平成26年7月発行

発行 | 名古屋工業大学
所在地 | 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL | 052-735-5000
URL | <http://www.nitech.ac.jp>
編集 | 名古屋工業大学企画広報課 広報室
表紙デザイン | NIT DESIGN PROJECT